

低空転トルク小形一方クラッチ

Low Idling Rotational Torque Miniature One-Way Clutch



さまざまな分野の機器・装置の逆転防止機構には一般的に一方クラッチが使用されている。

今回、空転時のトルクを従来品比 1/5 と大幅に低減した低空転トルク小形一方クラッチを開発したので紹介する。

特長

①低空転トルクを実現

転がり部に針状ころを採用し、ばね形状（板厚、幅、長さ）を徹底的に最適化することで、確実なロック機能を維持したまま、空転トルクを低減し、従来品比約 1/5 を実現。

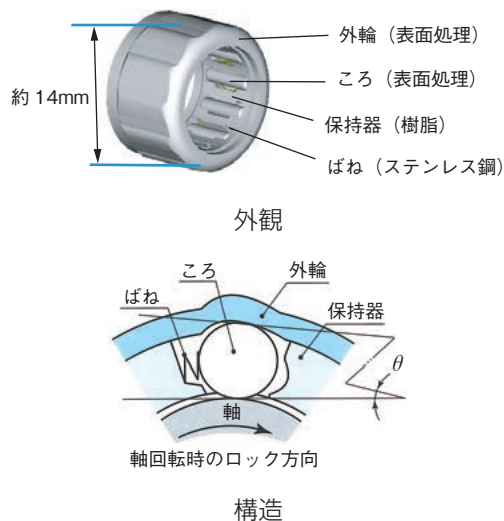
②防せい性向上

ばねにステンレス鋼を使用し、ころと外輪に表面処理を施すことにより優れた防せい性を実現。

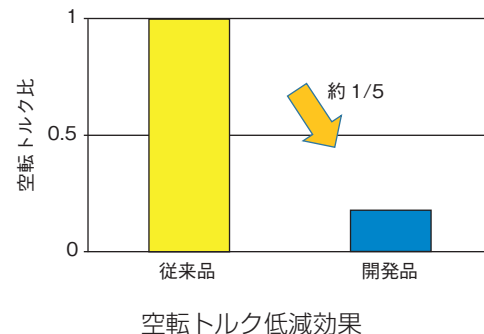
③軽量化を実現

外輪のプレス加工採用により肉厚を従来品比約 1/2 に薄くし、保持器に樹脂を採用することで軽量化を実現。

構造

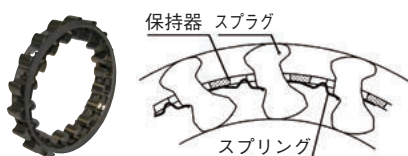


性能



<参考>スプラグ形 軽量一方クラッチ

当社では、大径軸に適したスプラグ形も生産しています。



- ・内輪・外輪とも円筒軌道のままで使用可能
- ・軽量かつ安定した空転・ロック機能
- ・1枚のスプリングで全てのスプラグをかみ合わせる
内輪外径：φ35～70mm，幅：8～13mm
定格トルク：100～500N・m